

ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンボリオンが解読している。



特集

2025年12月3日に行われたクラブ活動表彰式・同窓会課外活動表彰式

4年生が語る内定への道

「ウプト」それとも「ウプウト」？

国際関係学部長、国際学科 中野 智章 教授

突然ですが、この冊子のタイトル『ウプト (wpwt)』が古代エジプト文明で使われたヒエログリフという象形文字であることを知っていますか？表紙に書いてあるので「見れば分かる」と言われそうですが、この単語の読み方、意外と奥が深いのです。

実は、初めてこのタイトルを見た際に「あれ、ウプトじゃないのかな？」と一瞬思ったのですが、決して間違いではありません。ヒエログリフの音はローマ字のように読むので、「ウプト」や「ウプウト」、あるいはeの音を省略して記すため、最初のwと次のpの間にeを入れると、「ウエプト」や「ウエプト」とも読めます。

ヒエログリフはフランスのシャンポリオンが1822年に解読しましたが、それは、私たちがアメリカのTrump大統領を「トランプ」と記すように、音だけで外国人の名前を記していることに気づいたのがきっかけでした。例えば、クレオパトラはギリシア系の女王でしたが、その名はKleopatraというアルファベットに近い音を持つ象形文字を組み合わせて記されていたのです。またエジプトに



王家の谷に築かれたラムセス6世王墓

CONTENTS

桃国四季 P01

「ウプト」それとも「ウプウト」?
中野 智章教授

特集 P03

4年生が語る内定への道

CU Sports Spirit P07

横浜F・マリノス加入内定!
ウプト学生編集委員が
樋口有斗選手にインタビュー!

ようこそわが研究室へ P08

安定した機械加工を実現するための
知能化支援技術を開発
古木 辰也研究室

TOPIC P09

Discover Commons
—コモンズとは? 知と人を繋ぐ場所

学生編集委員のページ P11

おしえて!
中部大生のリアルなカバン事情

特集レポート P13

2025年度「学びに関する調査」結果

CAMPUS NEWS P17

2025年度学長表彰の会 etc.

Random Shot P21

学生にとってのベストを追求する日々
鈴木 愛乃さん

活躍するOG P22

想いに寄り添う運動指導
鈴木 すぐるさん



中野 智章

なかの ともあき

南山大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門はエジプト学。イギリスへ留学した裏の理由は、実は本場でプリティッシュ・ロックを聴きたかったから。

はコプト教と呼ばれるキリスト教の一派があり、儀式などで用いる単語に、ヒエログリフから来た単語が多く残っていたこともヒントになりました。

さて、「wpwt(y)はwpj「開く」という動詞が変化した語で、「伝達する人(使者)」という意味があります。例えば、古代エジプト文学の最高傑作とされる『シヌへの物語』では、王が死去したことを知らせるため、「使者」が海外へ遠征に出ている王子に遭わされる場面にこの語が用いられており、他にも、「道を開く者(wp-wawt=ウプウアウト)」と呼ばれる山犬の姿をした神は、あの世へ死者を導く存在として知られていました。以前から気になっていたこのタイトル、今回このような機会を頂いたのでちょっと紹介をさせてもらいました。ヒエログリフについて知りたい人は、私の「考古学」や「西アジアから学ぶ」といった授業で紹介しているので、ぜひどうぞ。



ハルガオアシスの調査地アル・ザヤーン神殿の風景



学会発表で訪れたプラハで(写真右)



エジプト展での展示作業





特集

4年生が語る

内定への道

今春卒業する4年生の就職活動体験記をご紹介します。

内定先は総合大学とあって、実にさまざま。

就職活動中の皆さんも、これから始める皆さんもぜひ参考にしてください。

- ①受験社数 ②内定社数
- ③就職活動の準備を始めた時期

羽田空港サービスグループ (グランドハンドリング)

廣瀬 愛央さん ①5社 ②3社 ③3年生2月

英語英米文化学科



留学時に見た空港の地上スタッフの姿に憧れ、航空業界を志望しました。友人の紹介で知った内定先は、若手が挑戦できる環境が魅力で、次は自分が誰かに感動を届けたいと思いました。選考にあたり事前準備を入念に行いました。エントリーシートは第三者に添削してもらい、面接前にはキャリア支援課で本番を想定して練習を重ねました。「なぜこの企業か」を明確に言語化し、一社ずつ誠実に向き合えば熱意は必ず伝わります。入念な企業研究を自信に変え、堂々と臨んでください。

株式会社ファーストリテイリング (グローバルリーダー候補職)

鏡味 拓人さん ①12社 ②5社 ③3年生10月

経営総合学科



内定先はアルバイト経験や企業説明会で社風を肌で感じ、また、自分自身の留学経験を生かせる志向と合致したことが決め手となりました。就職活動の早期化に焦る必要はありません。むしろ、第1志望の選考には十分な経験を積んでから臨むのが得策だと思います。最も重要なのは、自信を持って話せる経験を持つことです。特に長期インターンシップや留学など、アルバイト以外で他者と差別化できる強みを作っておくと、選考で大きな武器になります。

株式会社中広

岩崎 佑星さん ①10社 ②2社 ③3年生9月

コミュニケーション学科



就職情報サイトで内定先を知り、会社が大切にしている理念に共感したこと、ゼミで地域資源を扱った経験から地域密着型の姿勢に魅力を感じ志望しました。選考では「第一印象」と「リアクションの質」に気を付けました。上手く話すこと以上に、相手の話に傾き、表情豊かに反応することを意識しました。面接では質問以上のことを話さず、相手のペースに合わせた丁寧な受け答えを心がけました。特別な対策よりも、価値観の合致と誠実な対話が評価につながったと感じています。

株式会社ジェイアール東海ホテルズ

田中 遥さん ①3社 ②2社 ③3年生11月

国際学科



学内業界セミナーがきっかけでホテル業界に興味を持ち、全国規模のイベントにも足を運びました。エントリーシートは自分の言葉で書き、面接は笑顔で臨むことが大切です。ホテルに関係する仕事に就きたいと思っていたので、身なりや振る舞いに気を配りました。また、面接が苦手な分、熱意だけは誰にも負けないよう伝え、内定を得ることができました。面接練習を積み重ねて少しずつ慣れていき、気負わずに自分を信じて、最後まで挑戦してください！

タキヒヨー株式会社

柴山 徹太さん ①7社 ②2社 ③3年生11月

心理学科



就職情報サイトを活用したり、地元の友人との情報交換を通して情報を得ていました。好きな服を扱う仕事に就きたいという想いから志望した内定先は、人事の方の温かい対応が決め手となりました。選考では、自分を偽らず一貫性を持ってありのままを伝えることを意識しました。偽りは人事の方に見抜かれます。ありのままの自分で正直に話すことでお互いに理解が深まり、結果として就職活動を優位に進められると思います。

独立行政法人自動車事故対策機構

金田 将輝さん ①7社 ②5社 ③3年生5月

日本語日本文化学科



学内外で行われている企業説明会に積極的に参加し、そこで得た情報はメモ帳アプリなどに一つにまとめて管理していました。事前に選考会場までの移動ルートや持ち物を決めておくことで、当日の不安を無くし、心に余裕を持って選考に臨めたことが良かったです。書類選考では丁寧な字で書くことを心がけ、面接では目線をしっかり合わせ、ハキハキと話すことを意識しました。自分の伝え方を磨き、しっかりと準備を整えておくことが、自信を持って面接に挑戦する鍵となります。

住友理工株式会社

吉安 智哉さん ①2社 ②1社 ③3年生5月

応用化学科



自動車が好きという思いから、自動車関連企業に絞って企業研究を行いました。

内定先は化学の知識や経験を生かせる点に魅力を感じ、工場見学会で技術力や働きやすさを実感しました。

就職活動は早期に始め、身だしなみやあいさつといった基本に加え、企業説明会やインターンシップでは事前に経営計画を確認した上で積極的に質問しました。早くから行動し経験を重ねること、周囲に相談しながら自分のペースで進めることが大切です。

株式会社ジェイテクト

山下 翔悟さん ①10社 ②1社 ③3年生7月

情報工学科



就職活動に関する情報は、主に就職サイトや企業の公式Webサイトから最新の採用情報を収集しました。また、企業説明会にも積極的に参加し、企業の方から直接話を伺うことで理解を深めました。

内定を得ることができたポイントは、情熱を持って選考に臨んだことだと思います。「この会社しかない、後がない」という強い気持ちで取り組んだことで、その熱意を評価していただけたと考えています。

周囲の意見やツールを活用し、就職活動を着実に進めてほしいです。

ヤマザキマザック株式会社

柴田 太陽さん ②8社 ②2社 ③3年生10月

ロボット理工学科



就職活動において、エントリーシートや筆記試験では、企業研究や職種理解を事前に徹底することが重要だと考えています。企業が求める人物像を理解して準備することで、回答の質が大きく変わりました。

面接では内容に加え、第一印象も意識し、笑顔でハキハキ話すことを心がけました。また、自分のやりたいことや将来のエンジニア像を具体的に伝えられた点が内定につながったと感じています。

選考に落ちても諦めず、視野を広げて挑戦してください。応援しています！

三菱電機ソフトウェア株式会社

岩間 遥さん ①1社 ②1社 ③3年生5月

電気電子システム工学科



内定先の先輩に、選考時期や進め方、実際に聞かれた質問内容を詳しく聞き、不安がなくなるまで準備することを心がけました。また、任意参加の説明会にも積極的に参加し、エントリーシートに書いた内容が主に質問されるといった情報を収集しました。その情報をもとに、事前にエントリーシートや面接対策を十分に行うことができました。

就職活動では情報収集が重要で、多くの企業やインターンシップに参加することで、自分に合った企業を見つけられると思います。

近畿日本鉄道株式会社

木下 大輔さん ①4社 ②3社 ③3年生7月

歴史地理学科



近畿日本鉄道の駅員の方に助けてもらった経験から、私も駅員や車掌、運転士になって人々の役に立ちたいと思い鉄道員を目指しました。特に近畿日本鉄道を意識し、志願者が多い中で最初の関門となる筆記試験の対策を徹底したことが内定のポイントです。

面接では「表情」を最も重視しました。対面だからこそ伝わる人間性を大切に、常に笑顔で声の大きさも意識しました。相手に良い印象を持ってもらうには面接の時の表情が一番重要だと思います。

豊田合成株式会社

小倉 慎也さん ①3社 ②3社 ③3年生6月

機械工学科



就職活動の情報は、主にキャリア支援課やスマホアプリ、企業説明会から得ていました。

苦労した点は、自己分析が不十分で面接で質問に対して思い通りに回答できなかったことです。改善するため、何度も練習と振り返りを積み重ねました。

一番大切なのは、他の人よりも早くから動き始め、自分自身と向き合うことです。焦る時こそ一人で悩まず周囲に相談してください。周りの助けを借りながら進むことが、自分らしい選択につながると思います。

三重県庁(総合土木)

岡村 優美さん ①2社 ②2社 ③3年生3月

都市建設工学科



内定先は家族や先生に勧められたことがきっかけで知りました。しかし、過去問題や体験記が少なく情報収集や対策は難しかったです。

特技の書道で培った集中力を生かし、エントリーシートをすべて手書きすることで、熱意を表現しました。面接では笑顔と愛嬌を大切に、専門性を問われる口述試験では、正誤以上に自分の意見をしっかりと伝えることを意識しました。

就職活動は、早く終えることより納得感を重視し、内定をいただいた縁を大切に最後まで頑張ってください。

住友林業株式会社

中村 空さん ①8社 ②4社 ③3年生6月

建築学科



建設業界を中心に幅広く企業研究を行い、他社比較を通して志望動機に説得力を持たせることを意識しました。業界・会社・職種を選んだ理由を整理した上で、実際の施工例を見学して理解を深め、自分の言葉で熱意を伝えました。

就職活動は内定を得るためだけの場ではなく、将来働く建設業への理解を深める学びの機会だと感じています。学生の立場だからこそ聞ける話を吸収し、知識が増えていく過程を楽しむことが、入社後にもつながる大切な経験になると思います。

株式会社EVERYFOOD (管理栄養士)

藤原 航希さん ①3社 ②1社 ③4年生4月

食品栄養科学科
管理栄養科学専攻



内定先を知ったきっかけは、研究室の先生から紹介いただいた「おせちの盛り付けセミナー」への参加でした。また、内定先は管理栄養士として働ける職場であることに加え、料理に力を入れ、事業所ごとにお客様に合わせて味を工夫できる点に魅力を感じました。

就職活動では、同業他社との違いを明確にした上で、なぜその企業を志望するのかを言語化し、情報収集や面接準備を行うことが重要だと感じました。また、筆記試験対策は2・3年次から進めておくことで安心です。

学校法人藤田学園藤田医科大学病院 (臨床検査技師)

辰田 早輝さん ①1社 ②1社 ③3年生2月

生命医科学科



就職活動の情報は、主に研究室の先生からの助言やC-NETで得ました。求人情報を確認し、気になる病院には積極的に見学へ行き、現場の雰囲気や自分の目で確かめました。

内定先の病院は、過去に受診した経験があったことから興味があり、他の総合病院ではあまり扱われていない、特に学びたい分野があったことが志望理由です。

就職活動は早めに行動し、自己分析を通して自分のやりたい医療を明確にし、自分の言葉で伝える準備が大切だと感じました。

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター (看護師)

鬼頭 陽菜さん ①1社 ②1社 ③3年生8月

保健看護学科



看護師は、誰かの役に立ちたいという思いから志望しました。内定先の病院は、従姉妹が勤務していたことをきっかけに知りました。自分の性格を分析し、学びながらもじっくり患者に向き合える環境が良いと思い、二次救急であり温かな雰囲気のある病院に決めました。

履歴書はキャリア支援課の方に相談し、何度も添削してもらい仕上げることができました。

面接は入退場も含めて練習し、インターンシップへの参加や笑顔を意識したことが評価につながったと感じています。

まつした整形外科 (理学療法士)

木村 憂斗さん ①1社 ②1社 ③4年生7月

理学療法学科



内定先からの連絡には早めに対応し、印象を崩さないよう身だしなみを整えること、時間やマナーを守ること、会った人全員にあいさつすることを常に意識していました。

面接では焦らず、自分の考えを丁寧に伝えることが大切だと思います。ゼミの先生やキャリア支援課の方と練習を重ねることで本番の緊張感にも慣れることができました。また、自分が大切にしたいことや職場に求める条件を整理し、優先順位を決めておくことも重要だと思います。

三菱重工業株式会社

山田 瀬名さん ①2社 ②1社 ③3年生5月

宇宙航空理工学科



業界研究では、官公庁が公開している資料を読み込んで基礎知識を身につけました。企業研究ではインターンシップの職務内容に出てくる専門用語を調べ、仕事内容を具体的にイメージすることを意識しました。

就職活動の初めの頃に、周りの人の協力を得ながら自己分析を行って、自分の強みや長所を明確にし、キャリア支援課の方に何度も面接練習の対応をしていただきました。

面接は自分を最も表現でき、企業に印象を残せる重要な機会だと思います!!

一般社団法人 岐阜県公衆衛生検査センター

横山 朋佳さん ①5社 ②1社 ③3年生6月

応用生物化学科



就職活動では、まず周囲の人を巻き込みながら自己分析を行うことが大切だと思います。自分の強みや長所は、エントリーシートや面接で繰り返し伝える内容であり、最も自分を表現できる要素です。

大学の就職活動講座やWebサイト、先輩からの情報を活用し、準備を重ねました。面接では笑顔や声の大きさなど第一印象も意識しました。

自己分析を土台に行動することで、自信を持って就職活動に取り組みると思います。頑張ってください!

農林水産省 動物検疫所

今津 舞子さん ①2社 ②2社 ③3年生8月

環境生物科学科



農林水産省の採用ページを確認したり、採用担当者とのオンライン面談に参加して、採用までの流れについて情報収集を行いました。また、キャリア支援課や就職情報サイトから届くメールも参考にしました。

エントリーシートや面接に備え、資格取得やガクチカなど、些細な^{ささいな}ことでも自分をアピールできるエピソードを準備しておくことが大切だと感じました。学部分野にとらわれず幅広い業界を見ることで、新たな興味や出会いにつながると思います。広い視点をもって頑張ってください!

株式会社ブルボン

堀場 咲花さん ①6社 ②4社 ③3年生9月

食品栄養科学科
食品栄養科学専攻



内定先の企業は、就職情報サイトに掲載されていたことがきっかけで知りました。所属している学科で学んでいる分野であり、菓子業界の生産・品質管理職に就きたく、中でも内定先の品質管理に対する取り組みに惹かれ、志望しました。

IR情報を通じて求める人物像や経営戦略を理解し、志望動機や自己PRを固めたことが、エントリーシートや面接での評価につながったと感じています。面接では結論から話すことや笑顔を意識し、伝えたい思いを一貫して伝えました。

沖縄県教育委員会(小学校教諭)

高江洲 美来さん ①1社 ②1社 ③3年生7月

現代教育学科
現代教育専攻



筆記試験対策は、過去問題を多く解き、受験する県の出題傾向を把握することが大切だと思います。沖縄県は受験情報が少なく、資料も限られていたため、沖縄県の知り合いに相談し、情報収集を行いました。

沖縄で育った経験から、子どもたちがさまざまなことに挑戦できる環境をつくりたいと考え、教員を志望しました。

挑戦を通して視野を広げ、他者を尊重する力を育むとともに、沖縄に根付く豊かな伝統文化を次世代に伝えたいと思っています。

愛知県教育委員会(中学校教諭【数学】)

北川 明日香さん ①2社 ②2社 ③3年生5月

現代教育学科
中等教育国語数学専攻



教職課程センター分室で情報収集し、各自治体の教育委員会説明会に参加して試験形式を把握しました。筆記試験は市販の過去問題や問題集を使い、自治体ごとに分けて勉強しました。

数学を好きになったきっかけや面白さを情熱的に話し、好きなことを楽しそうに伝える姿勢が面接官に響いたと思います。話す内容を暗記するのではなく、本当に先生になりたい気持ちを伝えることが大切です。面接練習はとても大切です。最近の教育ニュースに関する質問も先生と一緒に考えてくださいます。

刈谷豊田総合病院(作業療法士)

甲崎 日菜さん ①2社 ②1社 ③4年生4月

作業療法学科



内定先の病院は、Webサイトを通して知りました。総合病院として急性期から生活期まで一貫した支援を行っており、患者さんの次のステージを意識した関わりができる点に魅力を感じ、志望しました。

情報は、C-NETや各病院のWebサイト、学科の担任の先生から配信される求人情報を活用して効率的に収集しました。

実習と就職活動が重なりましたが、計画的に準備を進めることで、両立することができました。早めの行動が、落ち着いた就職活動に向き合うことにつながります！

学校法人藤田学園藤田医科大学病院(臨床工学技士)

岡本 愛麻衣さん ①2社 ②1社 ③4年生4月

臨床工学科



就職担当の先生から紹介いただいたことがきっかけで内定先の病院を知りました。全国的に手術症例数や学会発表が多く、臨床工学技士としてさまざまな経験を積める点に魅力を感じ、志望しました。

就職活動で最も苦労したのは面接試験です。緊張しやすい性格のため、事前準備に力を入れました。

病院ごとの特徴や求める人物像を意識し、姿勢や表情、笑顔ではっきり話すことを心がけました。

早めの情報収集と病院見学が大切だと思います。頑張ってください！

就職先が決定した皆さんへ

必ず中部大学進路支援システム「C-NET」から進路報告登録をしてください。

就職活動を継続している皆さんへ

キャリア支援課では全員の進路が決定するまでサポートしています。就職先が未決定の方は、不言実行館ACTIVE PLAZA5階のキャリア支援課を訪ねてください。卒業後(既卒者に対して)も就職活動を支援します。

これから就職活動を行う皆さんへ

- 中部大学に届く「求人票」や先輩方の「就職活動体験記」の検索・閲覧ができます。
- 求人情報や各種行事に関する情報がメール配信されます。
- 学内の各種就職関連行事の申し込みができます。
- あなたの就職活動スケジュールを管理できます。

東京消防庁(救急救命士)

小栗 昇真さん ①4社 ②2社 ③3年生10月

スポーツ保健医療学科



内定先は、大学で行われた説明会や先輩方の体験談を通して知りました。日本最大の消防機関として多様な災害や救急現場に対応し、高い技術と判断力が求められる点にとっても魅力を感じ、東京消防庁を志望しました。

就職活動で意識したのは生活リズムを整え、体調管理を徹底することです。公務員試験は長期戦のため、心身のコンディション維持が重要です。焦らず継続して取り組むことが自信につながると思います！悔いの残らないよう、頑張ってください。

武豊町職員(保育職)

岩本 尚己さん ①3社 ②2社 ③3年生3月

幼児教育学科



地域に貢献したいという思いと、実習で園の雰囲気を知り魅力を感じたこと、待遇面や男性保育士の採用率が高い点に魅力を感じました。

面接練習はさまざまな先生にお願いし、クセがつかないように工夫しました。また、よく聞かれる質問への回答を事前に作成し、本番を意識した練習をスムーズに行いました。

ピアノは暗譜できるまで、手元を見ず歌いながら弾けるよう繰り返し練習しました。早めに試験対策を進めることが大切だと思います！

スポーツニュースを随時更新中!

こちらのQRコードよりご確認ください。



横浜F・マリノス加入内定!

ウプト学生編集委員が

樋口有斗選手にインタビュ!



私たちが取材しました!



加藤 涼子 (写真左) コミュニケーション学科4年
伊藤 帆乃佳 (写真右) 日本語日本文化学科4年

サッカーを始めたきっかけは何ですか?

僕が小学校1年生の頃、兄がサッカーを習い始めたことがきっかけです。その際、付き添いとして一緒に始めました。実はその兄も、友人がサッカーを習い始めたのをきっかけに始めていて、振り返ると最初は「付き添いの付き添い」でした。

進学の際に中部大学を選んだ理由は何ですか?

中部大学のサッカー部なら、プロサッカー選手に必要な能力を高められると考えたからです。小学生の頃からプロを意識し、高校1年生の頃から本格的に目指すようになりました。自分に足りない技術や能力を伸ばせる環境が整っていると感じ、中部大学を選びました。

中部大学でサッカーをしてきて、得られた一番の学びは何ですか?

技術にこだわることです。他大学ではフィジカルや体力面を重視する中で、中部大学のサッカー部は技術を磨く練習に重点を置いています。その中で、技術向上に向けて続けることの大切さを学びました。

内定の知らせを受けたときの気持ちは?

嬉しさと安堵の気持ちが半々でした。練習で手応えを感じていたこともあり、オファーをいただけてほっとしました。家族にもすぐに報告し、マリノスファンの父に良い知らせを届けることができました。

今後の夢や目標、抱負を聞かせてください。

直近の目標はオリンピック出場です。まずはマリノスで主力として活躍し、その先にA代表、海外5大リーグでのプレーを見据えています。ドリブルや縦パス、90分間走り続ける運動量を武器に、プロの舞台で技術を磨き、海外でも通用する選手を目指します。

中部大学の後輩や高校生に向けてメッセージをお願いします!

僕は決してサッカーのエリートコースを歩んできたわけではありませんが、加入内定をいただき、J1の舞台に挑戦する機会を得ました。目の見えない状況でも、努力を続ければ良い結果につながると思いますが、現状を変えるために、毎日頑張りたいです。

ようこそ

わが研究室へ

vol.189

機械工学科

古木辰也研究室

安定した機械加工を 実現するための 知能化支援技術を開発

近年、AI技術は急速に身近な存在となり、私たちの日常生活に深く関わるようになってきました。しかし、AIが必要とされているのは日常生活だけではなく、機械工学の分野においても同様です。その背景として、産業界では生産性向上や品質の安定化を目的とした自動化のニーズが高まっており、少子高齢化に伴う技術者人口の減少や後継者不足も、その一因となっています。

そこで本研究室では、熟練技術者が有する加工技能をデジタル化し、AI技術と組み合わせることで、特定の技術者に依存しない生産システムの構築を目指しています。私は、難加工材である炭化ケイ素(SiC)を対象に、工具の状態変化によって加工が不安定になる兆候を予測し、安定した加工を維持できるように加工条件を補正する支援システムの開発を研究テーマに取り組んでおり、高精度かつ高効率な機械加工を安定して実現することを目的としています。

研究室では週1回の進捗発表があり、先生から丁寧な指導を受けることができます。研究室内の雰囲気も良く、研究の議論だけでなく日常的な交流も活発で、研究と私生活のメリハリをつけながら充実した研究生生活を送っています。



機械工学科4年
山田 翔大

ゼミ生に
ひとこと



機械工学科
ふるき たつや
古木辰也 准教授

研究室は、研究活動だけでなく、学生同士が気軽に集い、意見交換を行う大切な場です。日々の会話の中から新しい気づきが生まれ、学びが深まることも多くあります。機械加工の分野では、現象をよく観察し、考え、試す姿勢が重要です。研究や学修に真剣に向き合うこの時期に、多くを学び、多くを考える経験を大切にしてください。「知りたい」「挑戦したい」という気持ちを忘れず、学生生活を実り多いものにしてほしいと思います。

先生はこんな人

古木先生は、学生一人一人の主体性を尊重しつつ、研究に対しては常に厳しい目線で的確な助言をしてくださいます。毎週のゼミでは研究の進行状況に応じた指導があり、着実に研究の質を高めることができます。また、進路や奨学金など研究以外の相談にも親身に対応してくださり、研究室内の交流や雰囲気づくりも大切にされている先生です。



Discover Commons

— コモンズとは？ 知と人を繋ぐ場所

不言実行館 ACTIVE PLAZA 2・3階にある「コモンズ」は、
学生サポートセンターが設置する学びと交流の場です。
学生編集委員が運営に関わるコモンズサポーターを取材しました。



最大300人が利用できる開放的な空間で、講演会やプレゼンテーション、学生同士の勉強会に最適な学びの場です。ステージエリアには大型スクリーンが完備されており、多人数に向けて自分の考えを発表したり、イベント会場として使用することもできます。

さらにこの場所には、図書館と同様に新聞が常備されているため、最新の社会情勢や業界動向に触れることができ、就職活動やレポート資料の参考として活用できます。また、勉強しながら運動することができるデスククバイクも設置されています。



新聞コーナー

2階 スチューデント・コモンズ



ステージエリア

個人学習やグループワークに対応した席が配置されており、多種多様な場面で使用することができます。

自習に適したクワイエットルームや、グループワーク・ディスカッション、サークル会議などに活用できるグループスタディブース、25人を収容することができるプレゼンテーションルーム、就職活動などのWeb面接に最適な面接ブースなどが整備されています。

オンデマンドプリンターも完備されているため、講義資料などを印刷することができます。



クワイエットルーム

3階 ラーニング・コモンズ



グループスタディブース



面接面談ブース

Web面談やWebインターンシップなどに利用可能な1人用のブースです。事前予約が必要です。



オンデマンドプリンター

学内のラウンジと同じ、オンデマンド複合機プリンタがあります。



デスクバイク

2階に3台設置されています。事前予約不要です。

「コモンズサポーターとは？」

学生インターンシップとして、主にコモンズの運営・管理を任されています。その他、イベントの企画も行っています。いずれの活動も学生目線を大切にしており、分からないことや悩み事の相談もOK！気軽に声をかけてください！

青いシャツ・上着が目印です!!



貸し出し

パソコンやケーブルなどの機器、関数電卓やはさみなどの文房具を貸し出しています。

貸し出しの際は、受付で対応しますのでサポーターにお声がけください。その際、学生証の提示や連絡先を確認させていただくことがあります。



文具貸し出しコーナー

ホッチキスやはさみ、ボールペン、消しゴムなど主に文具の貸し出しを行っています。

機器貸し出し

関数電卓やPC、スマートフォン・PC充電器、マウス、HDMIケーブルなどの貸し出しを行っています。



「コモンズで行われている企画やイベント」

春学期は、4月に新一年生の森、5月に法律カフェ、6・7月にコモンズ企画や七夕企画を実施しました。

秋学期にはハロウィン企画やクリスマスイベントなど、一年を通して季節や行事に合わせたイベントを開催し、学生の交流・学びを深める機会を作っています。

イベントは主に2階スチューデント・コモンズで開催しています。

随時、コモンズサポーターのSNS (X・Instagram)で告知しているので、ぜひチェックしてみてください！



新一年生の森



法律カフェ



クリスマスイベント

「コモンズコンシェルジュとは？」

学生の挑戦を応援し、さまざまな相談に応じてくれる教員スタッフです。学生が自ら行動できるような「やり方」を提案したり、アドバイスをくれたりする頼もしい存在です。イベントの企画から学習の方法まで、どんな相談にも乗ってくれます。

面談時間について詳しくはこちら



施設予約方法

2・3階それぞれの受付で予約することが出来ます。学生証の提示が必要です。

ただし、単位が付与される授業での使用はできません。また、学生主体のコミュニティの場であるため、教員が主催する行事には利用できません。面接面談ブースは予約が埋まりやすいため、早めの予約をおすすめします。



1カ月先までの予約が可能です！

空き状況の確認はこちらから



取材した学生 /



寺西 明
現代教育学科
2年



加藤 涼子
コミュニケーション学科
4年

QOL&気分

爆上がりアイテム！



資格試験のテキスト

タブレット

キャラクターのポーチ

ペンケース



下田 菜月さん
経営総合学科4年

1年生から軽さ重視でトートバッグを愛用しています。一番のお気に入りは、自分のお金で初めて購入し、授業や就職活動でも大活躍しているタブレットです。最近は資格試験のテキストも欠かせません。小物は自分の好きな可愛い色を選ぶようにしていて、トートバッグを開けた時に好きな色が目に入ると、それだけで気分が上がります！

学生編集委員の感想

荷物を軽くしつつ卒業論文や就職活動、資格勉強に励む努力家、ピンクの小物で進学を彩り前向きな姿勢が印象的でした。

こだわり

クリアファイルINリュック



プロ野球チームのユニホーム

集めているクリアファイル

けん玉

検定の問題集など

お気に入りのクリアファイル



大原 心太さん
日本語日本文化学科2年

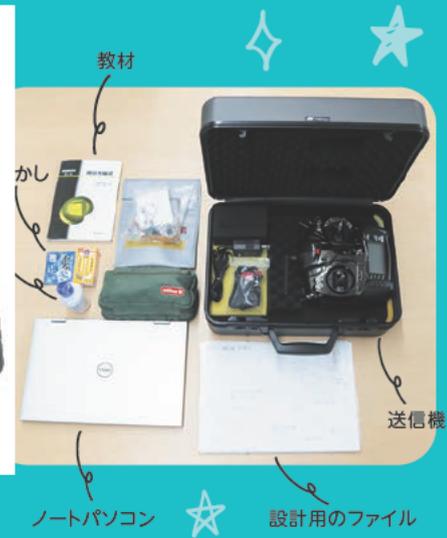
撥水リュックは、荷物が多くても両手が空くので重宝しています。中身は検定の問題集のほか、趣味で集めている各学部のクリアファイル。中日ドラゴンズが2007年に優勝した時の新聞ファイルは宝物です！授業後の観戦に備えてユニホームも常備。大好きなものと一緒に、毎日を楽しんでいます。

学生編集委員の感想

友人が困っている時におけるためのカイロを常備する優しさが印象的。たくさんファイルを持ってプリントを1つ1つまとめる整理術、独自のこだわりと気配りの両面を感じました。

バッグと

送信機は自分らしさ



教材

かし

送信機

ノートパソコン

設計用のファイル



村橋 拓磨さん
宇宙航空理工学科3年

中部大学ヒコウキクラブで飛行機の製作と操縦を行っています。普段から使用しているリュックには、教材のほかに設計用のファイルや方眼紙、消毒液を常備しています。さらに、ラジコンのプロポ(送信機)ケースも持ち歩き、自作の機体をいつでも飛ばせるよう準備しています。このケースはともにお気に入りです！

学生編集委員の感想

9年も愛用するバッグは、もはや彼のアイデンティティ！こだわりの送信機についても熱く語る姿に、一途なヒコウキ愛を感じました。

おしえて！中部大生のリアルなカバン事情

委員のページ



小野 あんじゅ
国際学科
2年



阿部 倫弥
歴史地理学科
3年



田中 佑佳
コミュニケーション学科
3年



伊藤 麻央
コミュニケーション学科
3年



吉村 希
国際学科
3年



西岡 夏実
ロボット理工学科
4年



塚本 愛美
ロボット理工学科
4年



小林 愛実
日本語日本文学科
4年

ウプト
学生編集委員の
私たちが企画・
取材しました。

全学部がワンキャンパスに集う中部大学。学部ごとに異なる専門道具やこだわりの私物など、学生のカバンの中身は驚くほど多種多様です。広大なキャンパスでの学びを支える、学生たちの「リアルな必需品」を調査しました。

院生が選ぶ、

研究を支える必需品



王 翹楚さん
応用生物学専攻
博士前期課程2年



中国から日本の大学院へ進学し、植物のビタミンを研究しています。最近では高校の参考書も活用中。体系的に「モデル植物」を学ぶ日本の教育課程に対し、私は来日前にその機会が少なかったため、知識の差を補うのが目的です。言葉の壁だけでなく、こうした背景の違いも一つ一つ吸収しながら、研究を深めていきたいです。

学生編集委員の感想 J・P・O・Pやたまごっちなど、日本の流行を詰め込んだリュックが素敵！趣味も研究も全力で楽しむ姿がかっこよくて私もこんな風に毎日を充実させたいなと思いました。

必要なものを

無駄なくミニマムに！



近藤 克樹さん
環境生物科学科3年



部活がある日は合気道着と短刀(木刀)を猿杓トートに。このバッグ、道具が入れやすく急いでいる時に走りやすいです！ラベルレスのお茶を選ぶのは、水筒を洗う手間を省くための自分流の工夫です。大学生になって持ち歩き始めたモバイルバッテリーやハンドクリームも必需品です。お茶と鍵だけは絶対に欠かせません！

学生編集委員の感想 「自分は大丈夫」と言う近藤さんですが、中身は縦長アイテムで揃えられ無駄なく整理されています。実は丁寧でまとめ上手な一面がカバンの中身から伝わります。

オハイオ留学が変えた、

僕の学習スタイル



中島 遼己さん
国際学科2年



大容量で小分け収納も多い黒リュックを愛用しています。PCはほぼ毎日持参し、授業のノート取りに活用しています。実はオハイオ大学留学前は手書き派でしたが、現地の学生の影響で今のスタイルに切り替えました。留学経験が、日々の学習スタイルにも大きな変化を与えてくれています。

学生編集委員の感想 最新機器を使いこなす姿はまさに現代の大学生。5年愛用のリュックや備のない持ち物から、物を大切に丁寧さが伝わります。ミニマルで収納上手な一面も素敵でした。

ウプト学生編集委員大募集！

特に1・2年生を歓迎しますが、学年は問いません。いつからでも始められます。関心のある方は、入試・広報部制作課(1号館1階)までお越しください。電話・メールでもお問い合わせ可能です。

☎ 0568-51-4465(入試・広報部制作課直通)
✉ chubu-selsaku@fsc.chubu.ac.jp



小松 望愛
現代教育学科
1年



寺西 明
現代教育学科
2年



星野 結菜
食品栄養科学科
2年



森山 裕多
宇宙航空学科
2年



村松 大雅
心理学科
2年



重松 歩佳
国際学科
2年



熊部 日菜
国際学科
2年



2025年度

「学びに関する調査」結果

回答ありがとうございます！
「ございました！」



本学では「学びに関する調査」を実施しています。

「学びに関する調査」には、「新入生」「在学生」「卒業時」の3種類があります。在学生調査では、学部生の皆さんに

毎学期の目標や学修の状況をはじめ、本学の教育やサポートに対する満足度を伺っています。

春と秋の「学びに関する調査」にご協力くださり、ありがとうございます。皆さんの学ぶ授業に対して、あるいは学ぶ環境に対して建設的なご意見をいただいています。調査結果は、グラフとしてまとめられたもの他、個別の記述意見も目を通させていただき、全体をまとめた集計表も拝見しています。学ぶ立場からの声は、授業をより良いものに改善し、環境改善のためにも大切です。授業へのコメントは、直接あるいは間接的に学部・学科、教員にお伝えしています。また、Wi-Fi設備、自習スペース、実験設備、トイレ、定期券購入システムなどの環境、始業時前のバス経路など毎年の具体的な改善につなげています。皆さんと共により良い大学を目指しています。

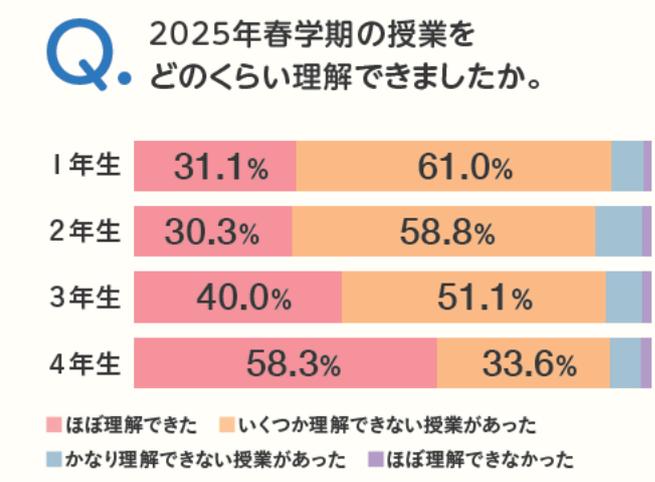
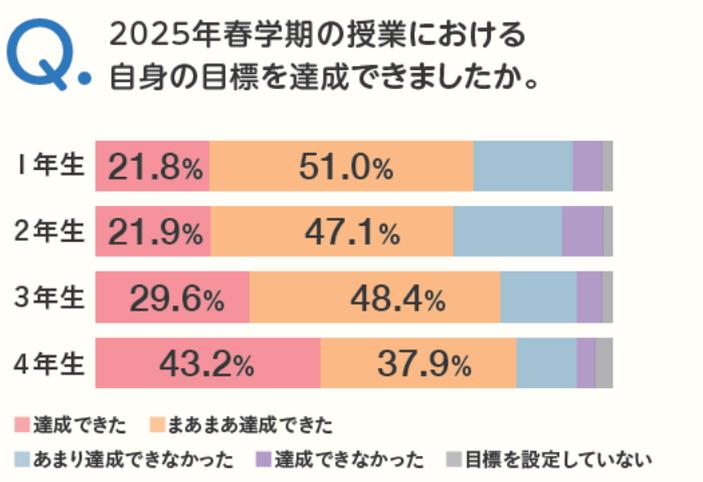
学長 前島正義

在学生調査 概要		
	春学期	秋学期
調査日	2025年3月24日～29日	2025年9月11日～17日
回答者数	8,141人 (回答率97.0%)	10,499人 (回答率93.9%)
対象	学部生	
方法	本学教育支援システム[Tora-Net Portal]	

「学びに関する調査」のねらい

学生の皆さんにとって、自身の“学修行動・学修成果の振り返り、目標設定と気づきの機会”となります。同時に大学は、この調査から、皆さんの学修成果の達成状況や満足度を正確に把握・評価し、“教育内容や学修環境の改善・向上を図る”ことを目指します。

在学生の授業理解度・目標達成度



授業理解度と目標達成度のどちらも2年生がやや低い状況でした。専門的な内容の授業が増えるため、難しいと感じた人が多いようです。2年生は専門の基礎を固める大切な時期です。分からないところはそのままにしないで、授業担当教員に質問したり、学習支援室(9号館1階)を利用して確実な理解へと繋げましょう。

新入生が中部大学に入学を決めた理由&在学生の満足度

毎年4月に新入生調査を実施しています。新入生の皆さんがどんな気持ちで中部大学に入学し、どんなことを期待しているのかを調査しました。新入生調査と在生調査の結果から、中部大生のリアルを一部ご紹介します。



新入生調査

Q. 中部大学に入学を決めた理由
(複数選択)

- 1位 学びたい学部・学科がある 72.8%
- 2位 資格や免許取得のため 42.6%
- 3位 就職に有利 28.5%

Q. キャリア(就職・進学など)に関する支援は充実していると思いますか。
(対象:4年生)

選択肢「そう思う」
「少し思う」の割合



Q. 資格取得への支援(授業科目、対策講座、模擬試験、教員や職員のサポート等)は充実していると思いますか。
(対象:3年生)

選択肢「そう思う」
「少し思う」の割合



資格取得や就職・進学に関する支援についても、在生は概ね満足という回答が得られました。

在生調査

Q. 学科の専門科目の授業に満足していますか。(対象:2~4年生)

選択肢「満足」
「まあまあ満足」
の割合



Q. 所属の学科に満足していますか。
(対象:3年生)

選択肢「満足」
「まあまあ満足」
の割合



Q. 前の学期に比べて専門的な知識や技術が身に付いたと思いますか。(対象:1~4年生)

選択肢「そう思う」
「少し思う」の割合



新入生の中部大学入学の決め手「第1位」となっている所属の学科について、在学生の約90%が満足していると回答しています。

中部大学では、2年生から就職ガイダンスを実施し、早い段階から皆さんの進路決定をサポートする体制を整えています。大学のサポートをぜひ活用してください。



入学時の夢や希望を実現できるよう、大学のサポートをどんどん活用しよう!

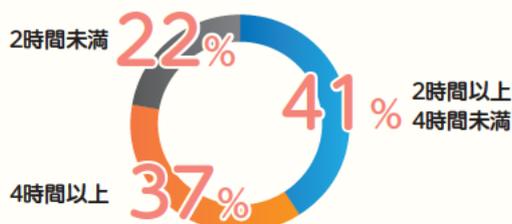
在学生調査から 中部大生の日常！

在学生の皆さんの授業以外の活動に関する回答結果をご紹介します。

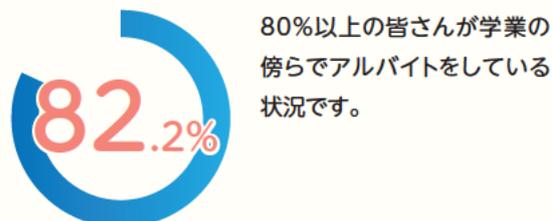
Q. クラブ・サークル・ボランティア活動に参加していますか。(対象:1~4年生)



Q. 授業期間中1日当たりの平均的なアルバイト時間(対象:アルバイトをしていると回答した1~4年生)



Q. アルバイトをしていますか。(対象:1~4年生)



Q. アルバイトの主な目的(複数選択可)(対象:アルバイトをしていると回答した1~4年生)

- 1位 趣味・娯楽、交際費 62.2%
- 2位 貯金 39.5%
- 3位 生活費 39.3%

在学生の皆さんが学業とアルバイトの両立に忙しい毎日をご過ごしている様子を垣間見る結果となりました。忙しくし過ぎて、健康を損ねたり、単位を落としたりしないよう、きちんとスケジュール管理をしましょう。



卒業時調査から 実りある学生生活にするための“先輩からのメッセージ”

2024年度の学部卒業生に「後輩に伝えたいこと、アドバイス」などのメッセージを募りました。ごく一部ではありますが、ご紹介します。

毎日の勉学を大事にした方がいいです。時間を大切に使う。(工学部)

就職活動は早めに準備して頑張ろう。(応用生物学部)

同級生だけでなく、先輩後輩、先生、年の離れた地域の人など幅広い年齢の方と交流を持つとさまざまな知見が広がって良いです。(人文学部)

国家試験勉強は早くすればするほど良いと思ったので早めのうちから取り組んでほしいです。(応用生物学部)

授業は真面目に受けること。スマホを置いて授業を真剣に聞いて!(国際関係学部)

大学では自分から人と関わろうとしないと深い人間関係が築きづらいと思います。自分から率先して人と関わる強さを持つことが大切だと思います。(工学部)

卒業論文のテーマを2年生くらいから大まかに決めておくことが重要です。頑張ってください。(経営情報学部)

たくさんのことを経験して豊かな大学生活をご過ごしてください。(現代教育学部)

中部大学を選んだ理由は人それぞれだと思いますが、結果として充実した学生生活を送れる大学だと思います。応援しています。(生命健康科学部)

卒業時調査 概要

調査日	2025年3月3日~23日
回答数	1,940人(回答率83.5%)
対象	2024年度学部卒業生
方法	Googleフォーム

▶ 体験に基づく先輩からの助言は「学業第一」

「授業を真剣に受けること」「勉学を大事に」など学業に関するアドバイスや卒業研究や就職活動、国家試験などの早めの対策をすすめるメッセージがたくさん寄せられました。まずは学業を第一に、いろいろなことに挑戦してください。

記述設問「中部大学に期待すること、より良くするためのアイデア」

春学期1,234件、秋学期1,585件のご意見をお寄せいただきました。

主な
キーワード

通学

食堂・売店

授業

施設・設備

皆さんからのご意見は、
学長が全て目を通し、
大学のさらなる改善・
向上に活用しています。



ご意見・アイデアに関する主な改善項目

授業・学習に関するQ&Aの掲載

授業や学習に関する“よくある質問”に対する回答をまとめ、学生ポータルサイトの「こんな時どうする?」に掲載しました。



デジタル定期乗車券の導入

2025年度春学期より、スマートフォンアプリを利用して名鉄バス中部大学線の定期券を購入できるサービスを開始しました。従来のカード型定期券を持ち歩く必要がなく、スマートフォンアプリのみで乗降できるようになりました。



シラバスの解説動画の提供

新入生向けに「シラバスとは何か?」を説明した動画を学生ポータルサイトに掲載し、シラバスの内容をもっと理解してもらえるように案内しました。また、教員が作成するシラバスの質を高めるため、シラバス作成の要点をまとめた動画を準備し、全教員に視聴するよう促しました。



新任教員向け授業改善研修の必修化

新任教員を対象として、大学教員に必要とされる授業技術や大学生の気質・特徴を学ぶ研修の受講を必須にしました。



皆さんのご意見や回答に関連した改善項目を中部大学のWebサイトに掲載しています。

「学びに関する調査」の結果に関連した主な改善項目

<https://www.chubu.ac.jp/about/university-activities/ir/kaizen/>



学生の皆さんへ 調査への協力をお願い

たくさんの有益なご意見やアイデアをありがとうございました。

これからも学生の皆さんが充実した学生生活を送れるよう、改善・向上に努めていきます。

今後の調査にも、引き続きご協力をお願いします。



CAMPUS NEWS

2025年度 学長表彰の会



2025年度 学長表彰の会



2025年度 学長表彰の会

学術・研究や社会貢献、課外活動などの分野で顕著な業績を残した学生を表彰する学長表彰の会が、1月19日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで開催された。

今年度は56人が表彰され、前島正義学長から一人一人に表彰状と記念品が手渡された。その後、小泉ありさん（応用生物学専攻博士前期課程2年）、辻莉子さん（英語英米文化学科4年）、櫻井洸太さん（スポーツ保健医療学科3年）による代表スピーチと、記念撮影が行われた。



表彰された皆さん（敬称略）

広橋 佑紀（情報工学専攻博士後期課程3年）
下村 晃太（情報工学専攻博士後期課程2年）
横山 さや香（応用生物学専攻博士後期課程2年）
太田 鈴乃（応用生物学専攻博士後期課程1年）
浅田 千佳良（電気電子工学専攻博士前期課程2年）
渡辺 翔也（電気電子工学専攻博士前期課程2年）
浅野 颯斗（応用化学専攻博士前期課程2年）
村田 陵哉（応用化学専攻博士前期課程2年）
鈴木 颯斗（ロボット理工工学専攻博士前期課程2年）
小泉 ありさ（応用生物学専攻博士前期課程2年）
梶原 大（機械工学専攻博士前期課程1年）
平井 晴也（電気電子工学専攻博士前期課程1年）
安藤 友補（建設工学専攻博士前期課程1年）
浦山 天海（応用化学専攻博士前期課程1年）
辻 佳樹（応用化学専攻博士前期課程1年）
富成 啓希（情報工学専攻博士前期課程1年）
藤吉 零（ロボット理工工学専攻博士前期課程1年）
横山 天音（宇宙航空理工工学専攻博士前期課程1年）

大野 真優（応用生物学専攻博士前期課程1年）
山口 響生（応用生物学専攻博士前期課程1年）
白川 礼二郎（経営総合学科4年）
辻 莉子（英語英米文化学科4年）
浅野 敦之（機械工学科4年）
加地 晴香（建築学科4年）
琴尾 充稀（建築学科4年）
青 悠太（応用化学科4年）
清水 颯太（応用化学科4年）
谷口 蒼空（応用化学科4年）
福島 貫太（応用化学科4年）
秋江 瞭吾（情報工学科4年）
川合 美希（情報工学科4年）
武藏 裕翔（情報工学科4年）
益田 翔太（電気電子システム工学科4年）
鈴木 愁瑠（応用生物化学科4年）
大角 祐輝（経営総合学科3年）
八木 夏音（経営総合学科3年）
辻澤 武都（応用化学科3年）
原 速音（応用化学科3年）

三浦 義明（応用化学科3年）
村瀬 葉月（応用化学科3年）
長尾 玲維（宇宙航空学科3年）
脇田 徳子（宇宙航空学科3年）
櫻井 洸太（スポーツ保健医療学科3年）
沖野 来実（現代教育学科現代教育専攻3年）
鈴木 天翔（現代教育学科現代教育専攻3年）
丹羽 皇貴（現代教育学科現代教育専攻3年）
増田 蔵之心（日本語日本文化学科2年）
小柳 智煌（心理学科2年）
西村 大二郎（心理学科2年）
長谷川 琥南（都市建設工学科2年）
竹島 大翔（応用化学科2年）
須崎 恭輝（宇宙航空学科2年）
藤岡 凌生（宇宙航空学科2年）
百瀬 仁那（日本語日本文化学科1年）
松野 ベンヤミン（都市建設工学科1年）
松原 健人（都市建設工学科1年）



2025年度 クラブ活動表彰式・同窓会課外活動表彰式

1年間で功績をあげたクラブ、努力したクラブなどをたたえるクラブ活動表彰式が、2025年12月3日午後、講堂（体育館）で開催された。

続いて同窓会課外活動表彰式も行われ、小澤寿行同窓会副会長（石田智久同窓会会長の代理）から表彰された。

受賞した団体・個人は以下の通り。



2025年度クラブ活動表彰 受賞者・団体（敬称略）

クラブ活動優秀賞（個人の部）

■ハンドボール部

村田 大希（経営総合学科1年）

クラブ活動奨励賞（団体の部）

ハンドボール部

卓球部

剣道部

空手道部

弓道部

クラブ活動奨励賞（個人の部）

■硬式野球部

松本 祐斗（経営総合学科4年）

津波 英太郎（国際学科3年）

中森 皓也（国際学科3年）

山田 典弘（国際学科3年）

高橋 翼（経営総合学科2年）

藤田 悠矢（経営総合学科2年）

■サッカー部

伊藤 氷麗（経営総合学科3年）

国本 遥大（経営総合学科3年）

樋口 有斗（日本語日本文化学科3年）

■バスケットボール部（女子）

佐藤 莉子（経営総合学科4年）

大竹 乃愛（スポーツ保健医療学科2年）

■ハンドボール部

平野 凌斗（スポーツ保健医療学科4年）

迫田 和樹（経営総合学科3年）

福原 翔真（経営総合学科3年）

三浦 武蔵（日本語日本文化学科3年）

ハリス 希生（経営総合学科1年）

■ローンテニス部

安井 涼香（AIロボティクス学科3年）

■トリアスロン部

橋本 咲良（環境生物科学科3年）

山田 壮流（スポーツ保健医療学科3年）

清水 晃樹（スポーツ保健医療学科2年）

■剣道部

鈴木 来実（現代教育学科現代教育専攻3年）

山田 陸斗（経営総合学科2年）

羽賀 唐馬（経営総合学科1年）

■空手道部

中川 駿斗（歴史地理学科4年）

■弓道部

竹内 愛美夏（心理学科3年）

大場 来覇（機械工学科3年）

中垣内 光羽人（理学療法学科1年）

■将棋部

伊藤 優（機械工学科3年）

渡辺 快（経営総合学科1年）

■書道部

市川 真優（現代教育学科現代教育専攻3年）

クラブ活動努力賞（団体の部）

シンフォニックバンド

クラブ活動努力賞（個人の部）

■ハンドボール部

近藤 秀太（経営総合学科3年）

■バドミントン部

水野 滉大（都市建設工学科4年）

宮下 稜平（機械工学科3年）

林 仁成（建築学科1年）

■書道部

織田 富士子（心理学科3年）

クラブ活動功労賞（団体の部）

鉄道研究会

クラブ活動特別賞（団体の部）

ハンドボール部

2025年度同窓会課外活動表彰 受賞者・団体（敬称略）

団体の部

ハンドボール部

剣道部

空手道部

卓球部

弓道部

個人の部

■ハンドボール部

村田 大希（経営総合学科1年）

■ローンテニス部

安井 涼香（AIロボティクス学科3年）

■剣道部

鈴木 来実（現代教育学科現代教育専攻3年）

山田 陸斗（経営総合学科2年）

羽賀 唐馬（経営総合学科1年）

■空手道部

中川 駿斗（歴史地理学科4年）

■弓道部

竹内 愛美夏（心理学科3年）

大場 来覇（機械工学科3年）

中垣内 光羽人（理学療法学科1年）

特に功績を認められたもの

個人の部

■硬式野球部

津波 英太郎（国際学科3年）

藤田 悠矢（経営総合学科2年）

■サッカー部

国本 遥大（経営総合学科3年）

樋口 有斗（日本語日本文化学科3年）

■ハンドボール部

平野 凌斗（スポーツ保健医療学科4年）

■トリアスロン部

橋本 咲良（環境生物科学科3年）

山田 壮流（スポーツ保健医療学科3年）

清水 晃樹（スポーツ保健医療学科2年）

■将棋部

渡辺 快（経営総合学科1年）

2025第21回中部大学音楽祭

2025年12月14日、春日井市民会館で第21回中部大学音楽祭が開催され、中部大学の5つの音楽クラブが出演。司会進行は放送研究会、受付・誘導は中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が務めた。



第48回バドミントン大会

2025年11月12日午後、講堂(体育館)で第48回バドミントン大会が開催され、ダブルス24組48人が出場した。優勝は薫森翔也さん(建設工学専攻博士前期課程2年)・吉岡滉太さん(同1年)ペア。



内定者との就職相談・交流会

2025年12月10日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA5階IL Group Career Hub B(クリエイティブ・ラボB)で女子学生を対象とした内定者との就職相談・交流会が開催され、学生9人が参加した。



第18回法律カフェ

「共同親権は、子どものためになるのか？」
～法律から家族の幸せを考えてみる～

2025年11月26日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階学生・コモンズで第18回法律カフェ「共同親権は、子どものためになるのか？～法律から家族の幸せを考えてみる～」が開催され、学生、コモンズサポーター合わせて7人が参加した。本学フェローの田中淳子愛知学院大学社会連携センター教授と本学フェローで弁護士の浅賀哲同センター教授らとグループワークを通して学んだ。



ネーミングライツ・パートナーが学生を対象に無料ランチを提供

AIKOKIKI HALL(第2学生ホール)、TYK Dining(第3学生ホール)でネーミングライツ・パートナーによる限定ランチが学生を対象に無料提供された。それぞれ150食から300食が事前に配布されたくじを引いて「当たり」が出た学生に提供され、特別なランチを楽しんだ。



AIKOKIKI HALL



TYK Dining

第2回Chubu Emotional Campus Spot PHOTO Contest 表彰式

1月21日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階学生・コモンズで第2回 Chubu Emotional Campus Spot PHOTO Contest表彰式が行われた。大学各所の「えもスポット」を撮影し、より「エモく」撮影できた作品が投票で選ばれ、学長賞と総得票数が上位の3人が優秀作品賞を、各スポット(4カ所)の得票数1位の4人が入賞した。

受賞作品は学生ポータルで公開▶



学長賞



原 なぎ子さん
現代教育学科 現代教育専攻4年

得票数第1位



吉柳 翔博さん
メディア情報社会学科2年

第2位



竹口 申之助さん
宇宙航空理工学科4年

第3位



児島 寿規さん
歴史地理学科3年

須藤雄哉さんがGPS/GNSSシンポジウム2025研究発表会で学生最優秀研究発表賞を受賞

須藤雄哉さん(工学研究科宇宙航空理工学専攻博士前期課程1年、海老沼拓史研究室)が2025年12月5日に東京海洋大学で開催されたGPS/GNSSシンポジウム2025研究発表会で、学生最優秀研究発表賞を受賞した。発表タイトルは「月測位衛星放送歴の設計と性能評価」。



鈴木愁瑠さんが第63回日本油化学会年会でJOCS Poster Awardを受賞

鈴木愁瑠さん(応用生物化学科4年、石田康行研究室)が2025年9月3~5日に信州大学長野(工学)キャンパスで開催された第63回日本油化学会年会でJOCS Poster Awardを受賞した。発表タイトルは「減衰全反射FT-IRおよび反応熱分解GCによる生活工芸品“油団”中の乾性油の構造解析」。



サッカー部 伊藤水麗さんと国本遥大さんが第64回東海学生サッカーリーグ戦1部で個人賞を受賞

第64回東海学生サッカーリーグ戦1部において、サッカー部の伊藤水麗さん(経営総合学科3年)が得点王を、国本遥大さん(同)がアシスト王を受賞した。



左から国本さん、伊藤さん

中部大学キッズ・スポーツフェスタ2025

2025年12月20日、講堂(体育館)他で春日井市、春日井商工会議所協賛企業の協力で開催された。愛知県・岐阜県の小学1~6年生316人が参加し、9種目から希望の2種目を体験した。



あつまれ!! わんぱく隊

2025年11月29日午前、現代教育学研究所と現代教育学部共催で開催され、わんぱく隊の学生が年中から小学2年生までの子どもを対象に、「音を楽しもう」をテーマに活動を行った。



第16回中部大学 ESD・SDGs 研究・活動発表会

2025年11月12日午後、リサーチセンター2階大会議室で第16回中部大学 ESD・SDGs研究・活動発表会が開催された。学内外から10組が発表を行い、学生、教職員、一般合わせて67人が参加した。



ウプト学生編集委員に表彰状授与

2025年11月28日午後、ウプト学生編集委員として企画・取材・原稿執筆に関わった4年生に対し、本学のPRに多大な貢献をしたとして、ウプト編集委員長の澤村隆秀教授(経営総合学科)から表彰状と記念品が授与された。表彰されたのは、伊藤帆乃佳さん(日本語日本文化学科4年)、江口心さん(同)、河村明音さん(同)、小林愛実さん(同)、加藤涼子さん(コミュニケーション学科4年)、塚本愛美さん(ロボット理工学科4年)、西岡夏実さん(同)。



左から加藤さん、河村さん、伊藤さん、澤村教授、江口さん、小林さん、塚本さん、西岡さん

八木夏音さんがアイデアピッチコンテストでJR東海賞とフォワードリーム賞を受賞

八木夏音さん(経営総合学科3年、趙偉研究室)が2025年11月8日に、なごのキャンパスで開催されたTongaliアイデアピッチコンテスト2025決勝~ファイナル~でJR東海賞とフォワードリーム賞を受賞した。発表テーマは「スクールバス時間可視化アプリ」。



浅野敦之さんが第20回切削加工ドリムコンテストで金賞を受賞

浅野敦之さん(機械工学科4年、安達和彦研究室)がDMG森精機株式会社が主催する第20回切削加工ドリムコンテストのアカデミック部門で金賞を受賞した。



第5回中部大学野球フェスティバル

2025年12月6日、本学硬式野球部主催の野球フェスティバルが大学野球場と室内練習場で開催され、春日井市内の軟式野球チーム12チームから小学4～6年生87人が参加した。



学生寮餅つき大会

2025年12月10日午後、学生寮2階食堂で学生寮餅つき大会が開催され、寮生15人、学生寮リーダー2人、教職員6人が参加した。



星空かんさつ会

2025年11月28日夕刻から、天文台天体観測所で星空かんさつ会が行われ、37人が参加した。参加者は学生サポーターから望遠鏡の操作方法を教してもらいながら、木星や土星、月などを観察した。



第47回自分探しグループ

2025年11月5・12・19・26日、学生相談室で自分探しグループが開催され、学生7人が参加した。自己理解・他者理解をしてより良い人間関係を築くための体験プログラムとして行われた。



新刊紹介

シモーヌ・ヴェイユ まっすぐに生きる勇氣



編訳
鈴木順子教授
(創造的リベラルアーツセンター)
発行 ディスカヴァー・
トゥエンティワン
2025年8月22日
定価 1,300円+税

英検2級サクセスパス リニューアル問題対応



共著者
今村洋美教授
(人間力創成教育院語学
教育プログラム(英語))、
西村智教授(同)、
和田珠実教授(同)、
グレゴリー・キング教授
(英語英米文化学科)、
デービッド・ローレンス教授(同)
発行 金星堂
2025年1月20日
定価 2,000円+税

辞書引き学習、海を渡る 一汎用的語彙学習方略モデルの開発



編著者
深谷圭助教授
(現代教育学科)
発行 三省堂
2024年12月25日
定価 2,500円+税

Random Shot 第203回

「考える」ことを大切に
本学国際学科の卒業生でもある鈴木さんは、学生時代の「対話」を通じて得た学びが現在の礎になっているという。「多様なテーマでディスカッションする有志団体を立ち上げ、正解のない問いや授業の疑問などについて仲間と議論を重ねた経験が、多角的な視点や相手を深く理解する力を育んでくれました」と当時を振り返る。

学生の皆さんに「知識は誰にも奪われない一生の財産である」という言葉があります。便利なものが増える時代だからこそ、自分で考え、心で感じることを大切にしてください。そこで得た学びは、自分を支え、人生を豊かに彩ってくれるはずですよ。大学生活を通じて、一生消えない自分だけの財産をたくさん築いてください」とメッセージを送る。

「学生にとって何がベストかを常に一番に考えています」と語るのは、教務支援課で授業編成や学習支援室の運営などを担当する鈴木愛乃さん。学生の「学びたい」という意欲を形にする時間割編成は、限られた教室数と履修希望者数を合致させる緻密な調整が求められる仕事だ。人数の多い学部の授業は多人数が収容できる教室を割り当てられず、履修者が抽選になりそうな局面もある。そうした際も、担当教員にクラス分割を提案するなど、一人でも多くの学生が希望の授業を受けられるよう粘り強く調整に当たる。鈴木さんは「試行錯誤の末に完成した授業編成で、学生がスムーズに履修登録できたときは大きなやりがいを感じます」と笑顔を見せる。

学習支援室の運営でも、学生サポーターの意見を反映して掲示板をデジタル化するなど、常に学生目線の改善を追求し続けている。

学生にとってのベストを追求する日々



教務支援課
鈴木 愛乃さん

趣味はライブやフェスで、大音量の音楽を聴いてリフレッシュすること。冬になると編み物が日課になり、現在は来年使用するマフラーを製作中。さらに世界遺産検定の取得にも励むなど、アクティブかつ知的な一面も。世界遺産マスターへの道も、着々と近づいている。



株式会社 名鉄ライフサポート

鈴木 すぐるさん
2019(令和元)年度スポーツ保健医療学科卒業

想いに寄り添う運動指導

身体機能の維持・回復を目的とした運動プログラムを提供する、リハビリ特化型デイサービス「名鉄レコードブック」。トレーナーの鈴木すぐるさんはここで、利用者一人一人の健康を支えている。鈴木さんはトレーナーとして入社後、関係機関との調整を担う生活相談員に異動となった。現場指導と相談業務の両職種を理解している存在は、社内でも極めて稀である。

「生活相談員の業務を通じて、契約事務やケアマネジャー様、ご家族との連携など、利用者様の生活を支える多角的な視点を得ることができました。現在は再びトレーナーとして現場に立っていますが、生活相談員時代に培った知識が大きな武器になっています。利用者様が今後どのような生活を送ってほしいのか、お一人お一人の意向を常に意識しながら、日々の業務に当たっています」

「また会いたい」を糧に

日々接する利用者は、既往症により日常生活の一部に不自由を感じていたり、外出への不安を抱えていたりする方が多い。しかし、そこには「最後まで自

宅で暮らしたい」「自分のことは自分でい、家族に迷惑をかけたくない」という、強い意志が溢れている。鈴木さんはその想いを受け止め、運動指導に励む。

「運動を通じて『楽に立ち上げられるようになった』『バランスよく歩けるようになった』といったお話を聞くと、この仕事を選んで本当に良かったと思いますし、やりがいにつながっています。それだけでなく、『ここに来ると元気になれる』『あなたに会うのが楽しみ』といった温かい言葉をいただくこともあり、私自身が利用者様やご家族の支えになっているのだと実感できることが、大きな喜びでもあります」

学びを自信に変えた4年間

大学時代は水泳部に所属し、三重県の実家から往復4時間かけて通学する多忙な日々を送った。「朝5時の始発電車で通学し、夜は部活後に23時に帰宅する生活でしたが、家族の協力のおかげでやり遂げました」と振り返る。

人生の転機となったのは、CAAC(中部大学アクティブアゲインカレッジ)での健康増進実習に関わったこと。「活気溢れる高齢者の方々を見て、『私もこん

な風に元気に歳を重ねたい』と思いました」。トレーニング内容の組み立てを考えたことが、運動指導を軸とする現在の職場へ進む決め手となった。

「CAACで多くの指導経験を積めたことが自信になりました。卒業論文で利用者様の運動習慣を研究し、他者の健康について深く考え抜いた時間は、私にとって大きな財産です」。大学職員向け運動教室や地域の方向けの体力測定など、学内外でアウトプットを繰り返した実績が、現場に立つ今も大きな支えになっているという。

経験が可能性を広げる

後輩となる学生の皆さんへ「とにかく『経験』を積み重ねてほしいと思います。私は『知らないことはもったいない』と思い、時間の許す限りとにかく興味のあることにすべて参加してきました。そのどれもが今の職場で働く際に役立っています。大学の4年間は、自分の可能性を広げる最高のチャンスです。中部大学というチャンスに溢れた環境を活用して、多くのことに触れてください」とメッセージを送る。



うら話



2025年度クラブ活動表彰式・ 同窓会課外活動表彰式



▲多くの学生が祝福した



▲表彰された学生たち



▲シンフォニックバンドによる校歌の演奏

2025年12月3日、2025年度クラブ活動表彰式および同窓会課外活動表彰式が開催されました。

この式典は、各クラブの1年間にわたる活動成果を称える場として実施され、多くの受賞者や関係者が出席しました。表彰の対象となったのは、各種大会やコンテストで優秀な成績を取めたクラブに加え、大規模なイベントの企画・運営において顕著な成果を挙げたクラブであり、それぞれの分野で積み重ねてきた努力と成果が称えられました。

式典は、クラブ運営委員会をはじめとする関係者の円滑な運営のもと進行し、受賞者が晴れやかな表情で表彰を受ける姿が見られるなど、終始厳かな雰囲気の中で執り行われました。

受賞した学生たちの表情からは、これまでの活動への誇りと来年度に向けたさらなる飛躍への決意が感じられました。

編集 後記

特集は毎年恒例の「内定への道」(P03~06)。各学科・専攻の4年生28人に就職活動を振り返ってもらい、体験記を掲載しています。これから就職活動を始め皆さんの参考になれば幸いです。「学生編集委員のページ」(P11~12)では、学生のカバンの中身を調査。いつもどんなものをカバンに入れているのか取材したところ、所属学科やクラブによって、特徴がありました。取材にご協力いただいた皆さんに心より感謝いたします。

中部大学通信 ウプト No.236

発行日/2026年2月28日
発行/中部大学ウプト編集委員会
編集/入試・広報部 制作課
〒487-8501 春日井市松本町1200
<https://www.chubu.ac.jp/>
Tel:0568-51-4465(制作課直通)
E-mail:info-seisaku@fsc.chubu.ac.jp